

## イブニングセミナー3

# P/Q型カルシウムチャンネル抗体と ランバート・イートン筋無力症候群

## P/Q type calcium channel antibodies and Lambert-Eaton myasthenic syndrome

Lambert-Eaton 筋無力症候群 (LEMS) は、運動神経終末からのアセチルコリン放出障害により、四肢筋力低下、腱反射低下、および自律神経障害を呈する神経筋接合部・自律神経の自己免疫疾患である。一方、LEMS 患者の半数以上が悪性腫瘍、主に小細胞肺癌 (SCLC) を合併する傍腫瘍性症候群でもある。SCLC を含む神経内分泌腫瘍に対する腫瘍免疫で自己抗体が生じ、シナプス前終末の活性帯に局在する P/Q 型カルシウムチャンネル (VGCC) を down-regulation させることが、LEMS の病態機序と考察される。本セミナーでは、病原性自己抗体である P/Q 型 VGCC 抗体の臨床的意義を解説する。

日時 2020年8月31日(月) 18:00~19:00

会場 第4会場 (岡山コンベンションセンター)

本会共催セミナーは整理券制 (当日配布) となります。  
配布場所・配布時間は抄録でご確認ください。

座長 高守 正治 先生

金沢西病院 脳神経センター 脳神経名誉センター長

演者 本村 政勝 先生

長崎総合科学大学 工学研究科 教授